

財務諸表に対する注記

1. 重要な会計方針

(1) 有価証券の評価基準及び評価方法

満期保有目的債券については償却原価法による。

(取得差額が少額であり重要性が乏しい場合は償却原価法を適用していない)

(2) 固定資産の減価償却の方法

定額法を採用している。

(3) 消費税等の会計処理

税込方式を採用している。

2. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

(単位:円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
定期預金	20,000,000	0	0	20,000,000
投資有価証券	38,435,030	97,810	0	38,532,840
普通預金	1,564,970	0	97,810	1,467,160
計	60,000,000	97,810	97,810	60,000,000

3. 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位:円)

科 目	当期末残高	(うち指定正味財産からの充当額)	(うち一般正味財産からの充当額)	(うち負債に対応する額)
基本財産				
定期預金	20,000,000	20,000,000		
投資有価証券	38,532,840	38,532,840		
普通預金	1,467,160	1,467,160		
計	60,000,000	60,000,000	0	0

4. 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

(直接法により減価償却を行っている場合)

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりである。

(単位:円)

科 目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
車両運搬具	3,198,110	3,198,107	3
合 計	3,198,110	3,198,107	3

5. 満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益

満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益は、次のとおりである。

(単位:円)

種類及び銘柄	帳簿価額	時 価	評価損益
国 債			
第10回 利付国債30年	38,532,840	44,871,160	6,338,320
合 計	38,532,840	44,871,160	6,338,320

6. 補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高

補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高は、次のとおりである。

(単位:円)

補助金等の名称	交付者	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高	貸借対照表上の記載区分
助成金						
受取地方公共団体助成金	下野市	0	15,350,000	15,350,000	0	-
受取民間助成金	宇都宮農協	0	1,040,000	1,040,000	0	-
	小山農協	0	1,200,000	1,200,000	0	-
合 計		0	17,590,000	17,590,000	0	-

7. 指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳

指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳は、次のとおりである。

(単位:円)

内 容	金 額
経常収益への振替額	
管理費計上による振替額	97,825
合 計	97,825